



各 位

2023年6月30日

会 社 名 アステリア株式会社
代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎
(コード番号：3853、東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久
(TEL: 03-5718-1655)

上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2023年3月末時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記の通り、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日における、東証プライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については基準に適合していません。当社は、下表のとおり、今回不適合となった「流通株式時価総額」を充たすために、2025年3月末までに上場維持基準への適合に向けた各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の状況* (基準日時点)	10,595人	122,806単位	92.0億円	70.2%
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35%
適合状況	○	○	×	○
計画期間			2025年3月	

* 株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

上場維持基準の未達項目である流通株式時価総額は「時価総額」×「流通株式比率」で構成されますが、当社の「流通株式比率」は基準を充たしていることから、「時価総額」の向上が最重要課題であり、更なる増大を目指します。

今後は、売上及び利益の継続成長に加え、過度なボラティリティを抑制した事業構造に転換することにより、一層強固な収益基盤を確立してまいります。更に、株式市場での適正な評価獲得のため、投資家の理解促進や信頼構築に向けた各種施策を充実させる方針です。

詳細につきましては、添付した「上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以上

プライム上場維持基準の適合に向けた計画書

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2023年6月30日



目次

1. プライム上場維持基準への適合に関する現状認識
2. 適合に向けた対応方針
 - 2-1. 定量的アプローチ
 - 2-2. 定性的アプローチ

1. プライム上場維持基準への適合に関する現状認識

プライム市場上場基準の適合状況

【プライム市場上場基準適合状況】

- ◆ 2023年3月31日(基準日)時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況について、流通株式時価総額のみが基準値未満

基準項目	基準	当社の状況*	適合状況
株主数	800人以上	10,595人	○
流通株式数	20,000単位以上	122,806単位	○
流動株式時価総額	100億円以上	92.0億円	×
流通株式比率	35%以上	70.2%	○

* 株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

プライム市場基準充足における計画期間及び基準達成の見方

2021年6月公表した「現中期経営計画STAR」および、来期開始の次期中期経営計画（以下、新中計）で上場基準を満たす各種取り組みを実施することとし、2025年3月末（新中計の第1年度末）までを計画期間といたします。

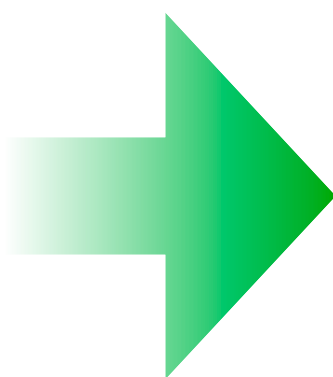


2023年3月末の基準日時点で当社の流通株式時価総額は100億円の基準に対して8%下回ります。過去の当社実績を基にした収益成長及びPER傾向値等を踏まえ検討した結果、後掲の対策を通じて、2025年3月末の基準値達成は充分可能と考えています。

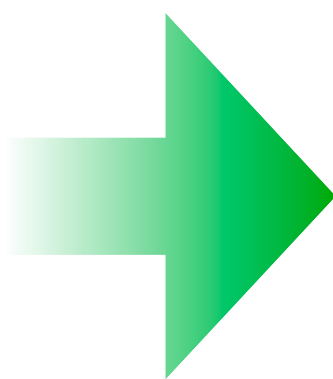
株式市場での評価に対する課題認識及び対策

【課題】

売上・利益の
積み増し



将来不安要素
の内包



【対策】

1. 業績の向上

- ✓ 既存製品の継続成長に加え、高成長の新技术領域への取組強化・サブスク製品への経営資源集中

2. 不安要素の低減

- ✓ デザイン事業の構造転換
- ✓ 企業投資事業の方針変更

適合に向けた基本方針

定量的アプローチ

売上・利益の着実な成長
事業投資・提携によるインオーガニック成長の実現
安定配当による株主還元

定性的アプローチ

実効性の高いガバナンスによる信頼獲得
広報機能と連携したIR活動の強化
サステナブル経営による社会価値の向上

企業価値
向上

流通株式
時価総額
向上

2-1. 適合に向けた基本方針-定量的アプローチ

事業規模の拡大基調が継続

前期比

売上収益
14%増

売上総利益
11%増

2021/3→2023/3

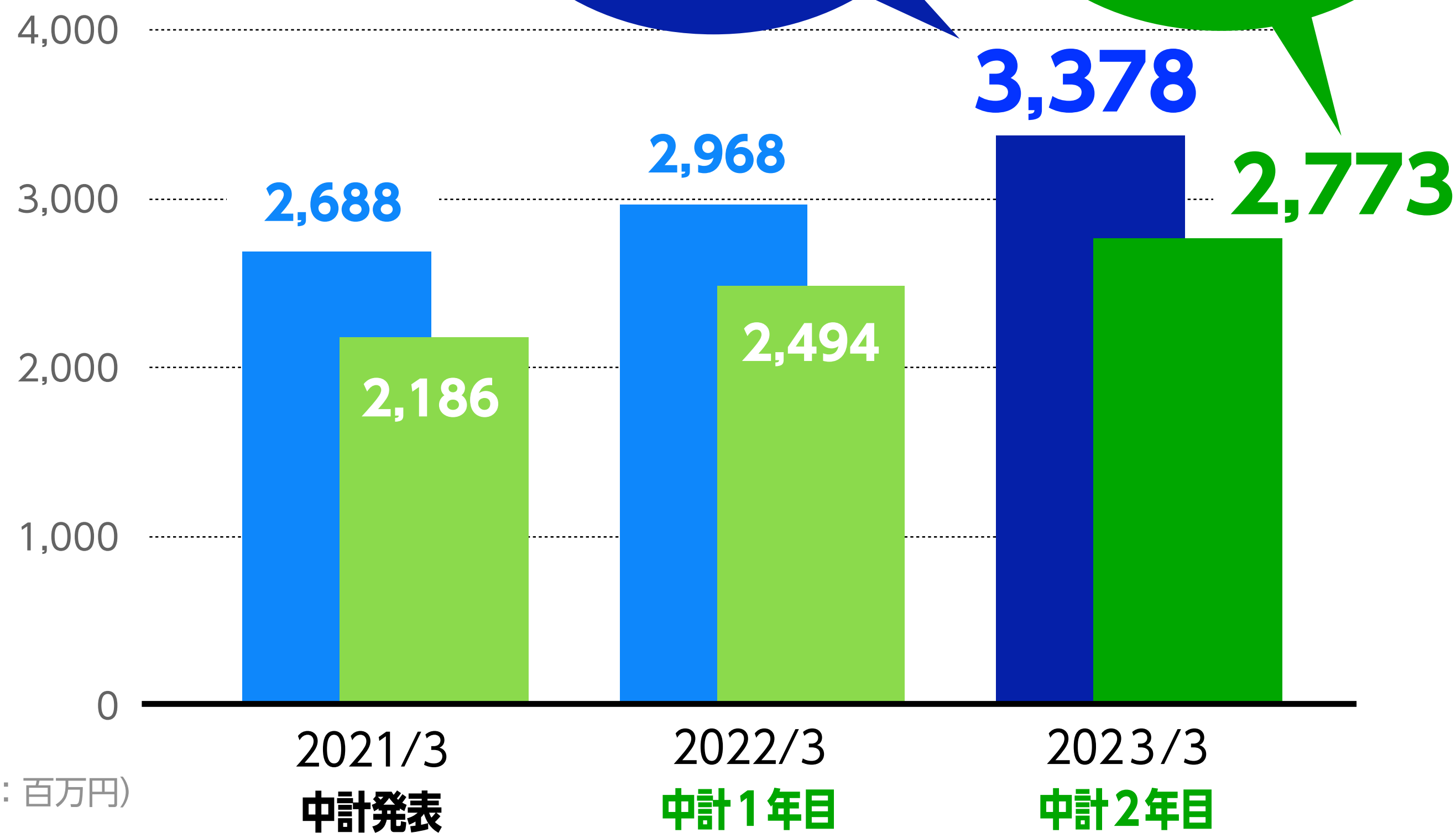
※中期経営計画 (STAR)
初年度からの伸び率

売上収益

26%増

売上総利益

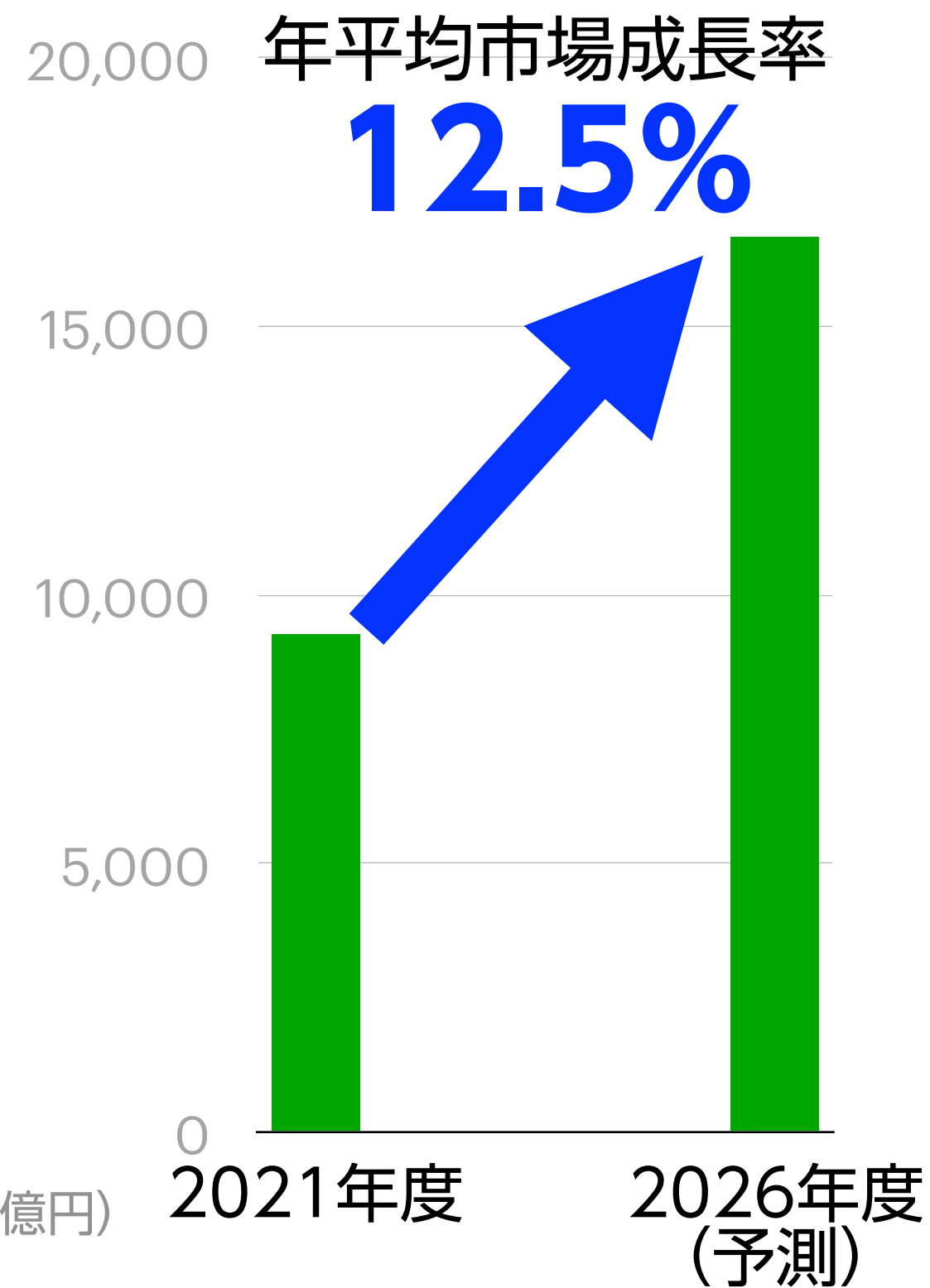
27%増



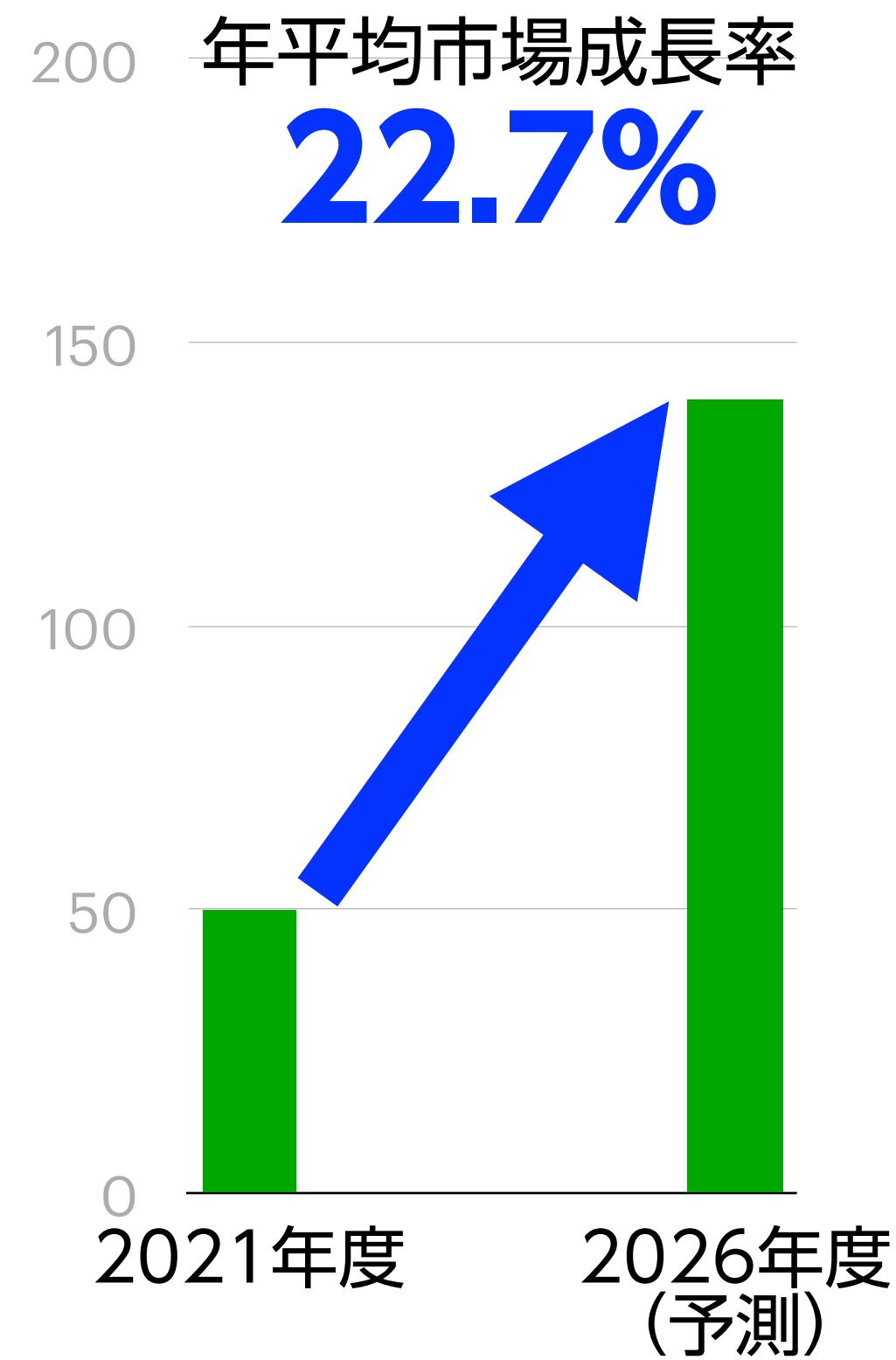
(単位：百万円)

参入領域は技術優位性が生きる成長市場

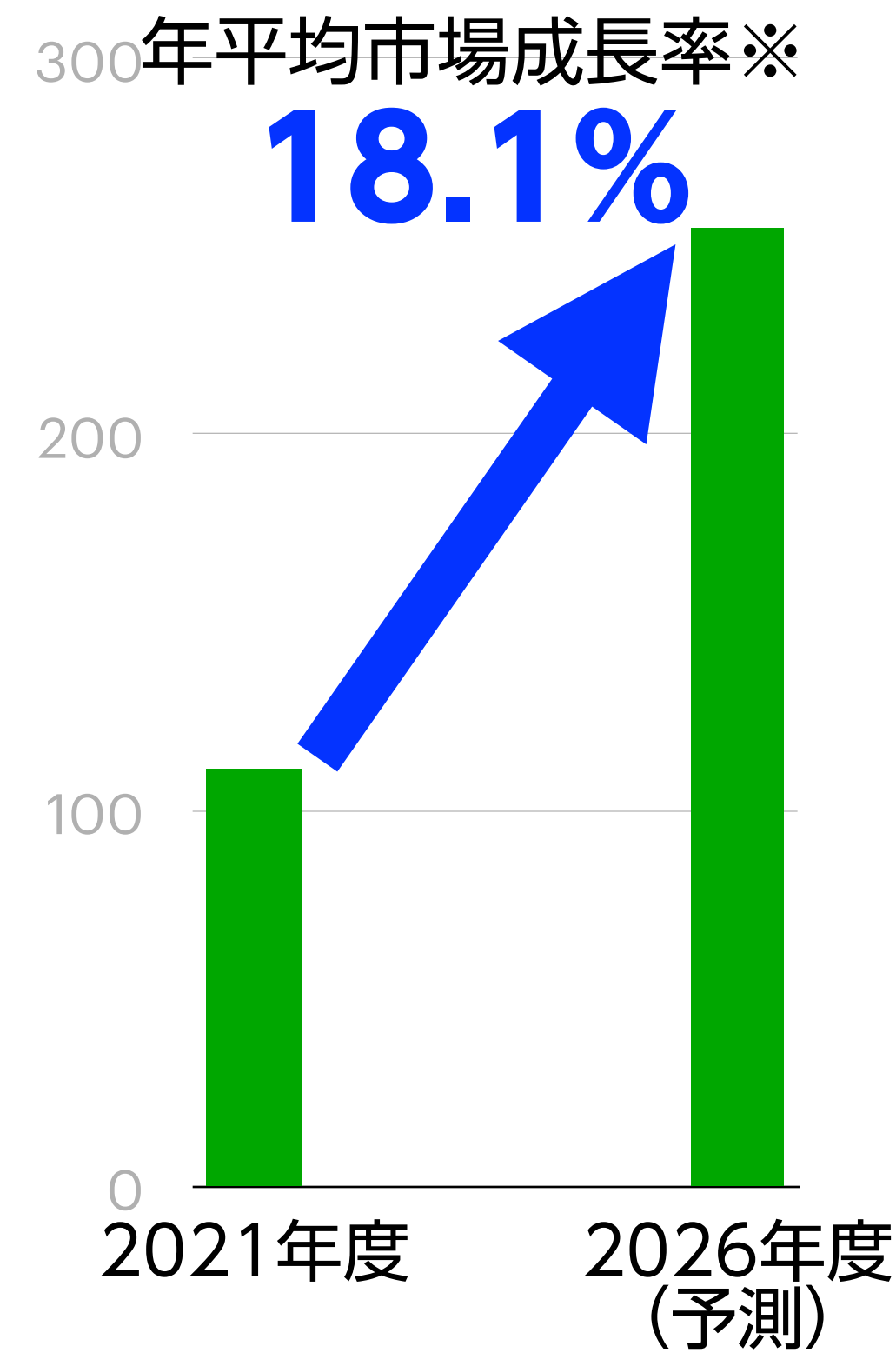
SaaS



iPaaS



ノーコード



AI

製品で技術活用

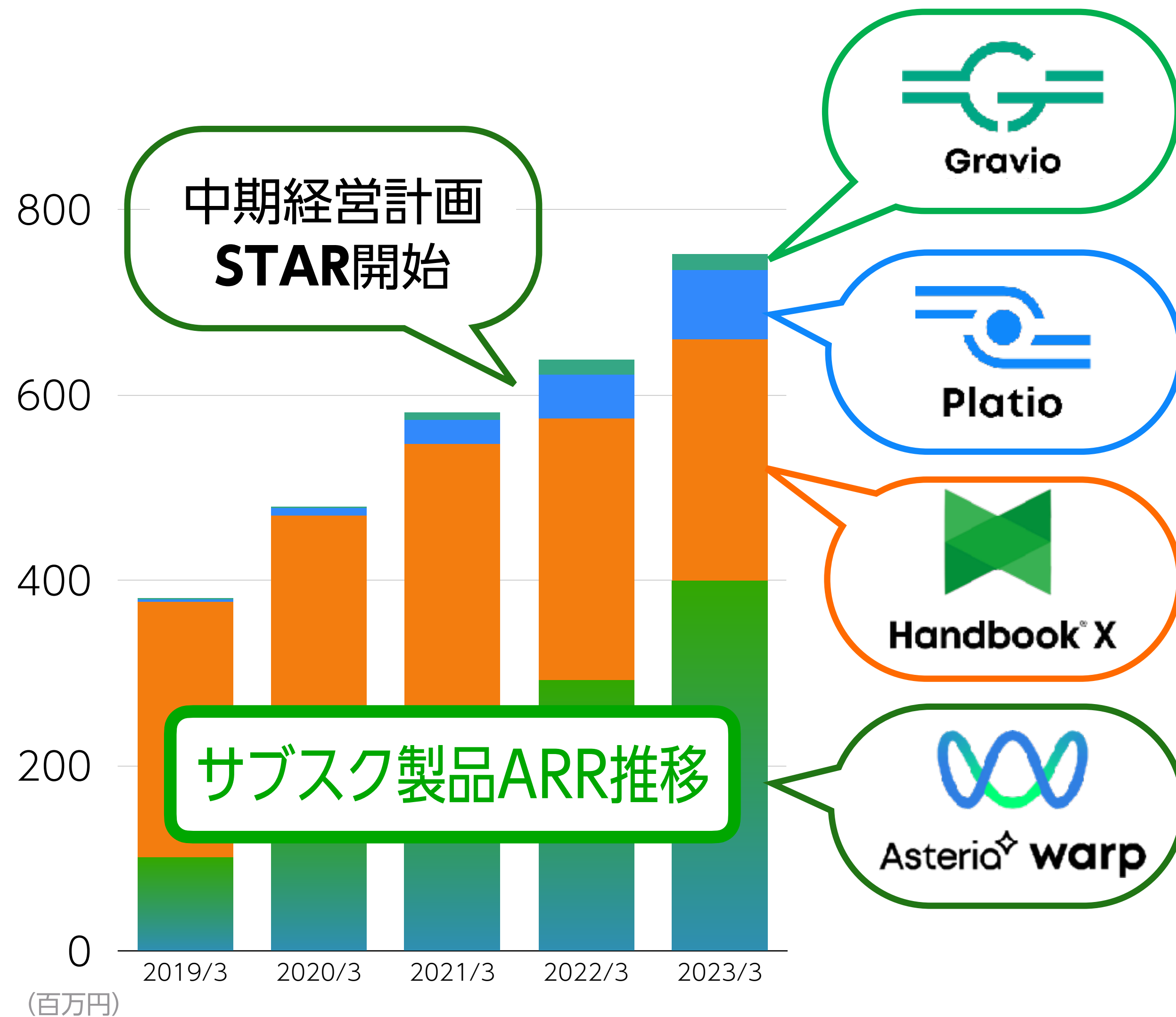


(子会社)
**Asteria
ART**
2019年設立

出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」

※ 「ウェブDB/ノーコードは開発ツール」の市場規模を使用

サブスク※製品への経営資源集中で売上拡大

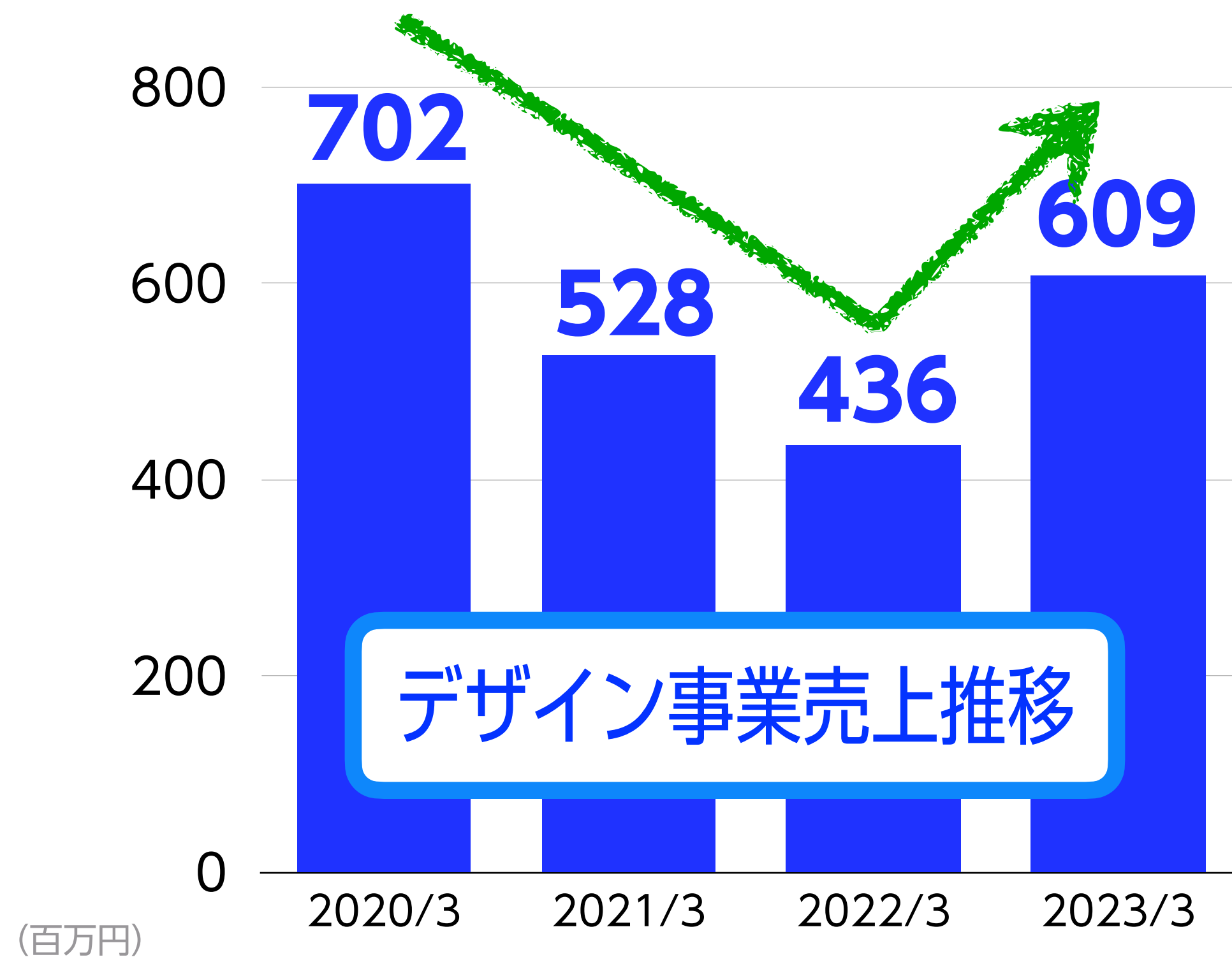


- ◆ SMB (中小企業) 市場や自治体でのDXニーズ拡大
- ◆ サブスク製品の売上収益が**7億円突破**
- ◆ 特別予算による販促効果
サブスク製品全体で
前期比**18%増収**

※ サブスク=サブスクリプション(継続型売上)
 ※ ARR: Annual Recurring Revenue。継続型年間売上。

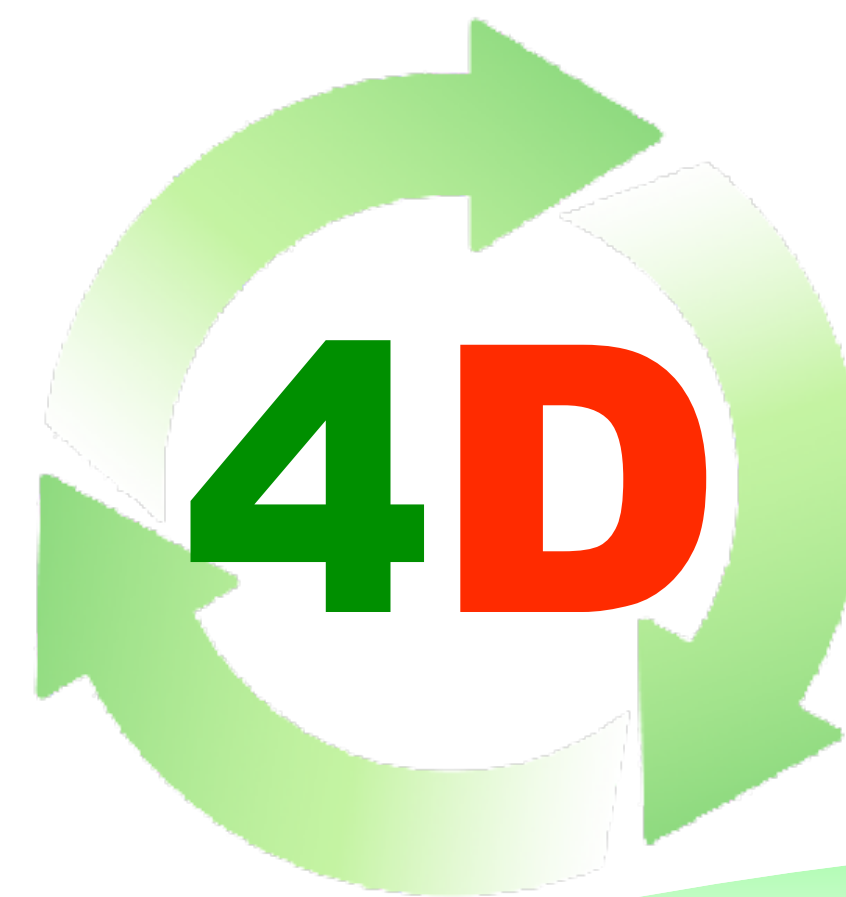
株価不安定要素の排除・解消

◆ 株価を下げた要因のデザイン事業がV字回復傾向



◆ ボラティリティが高いベンチャーファンド運営から事業投資・提携によるインオーガニック成長に注力

- ✓ AVF-IIの組成を中止
- ✓ AVF-I投資先の有利売却機会を確保



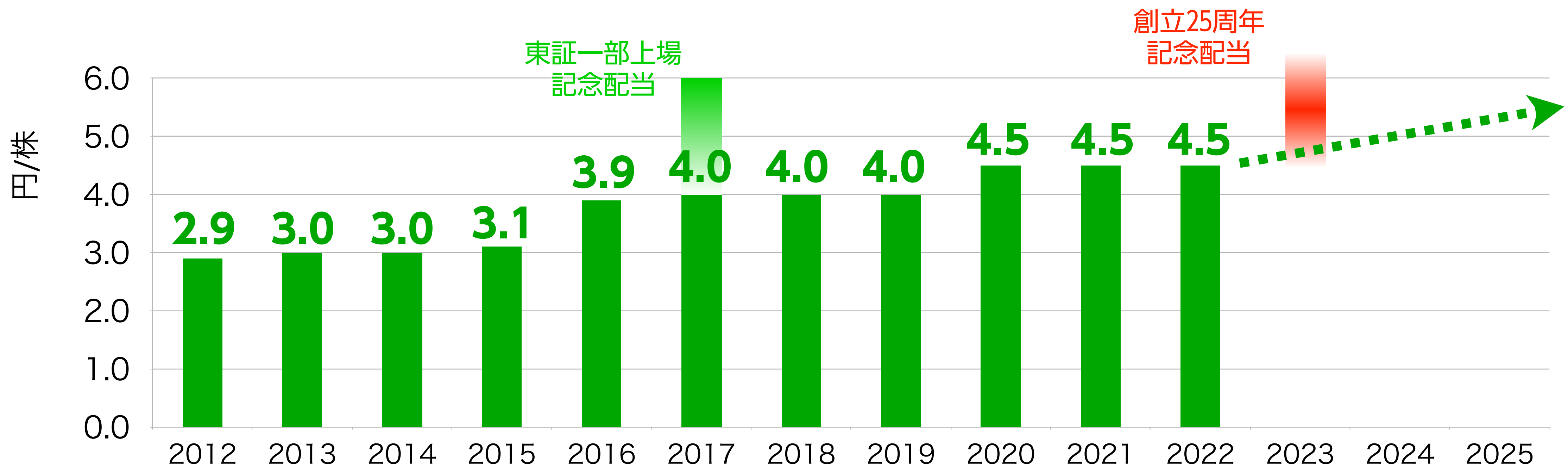
Data
Device
Decentralized
Design

企業投資事業
方針転換

安定配当維持／当社初の中間配当実施

◆ 一貫した安定配当を10数年にわたって継続

◆ 2024/3中間期は当社初の中間配当を予想（創立25周年記念配当）



2-2. 適合に向けた基本方針-定性的アプローチ

ガバナンス:独立社外取締役を2/3に

- ◆ 社外取締役は多様性 (ジェンダー、国籍) を重視した構成
- ◆ 高い次元で経営と執行の分離を実現

社内取締役

社外取締役



平野 洋一郎

- ▶ 共同創業者
- ▶ 社長/CEO



北原 淑行

- ▶ 共同創業者
- ▶ 副社長/CTO
- ▶ ソフトウェア
開発歴35年超



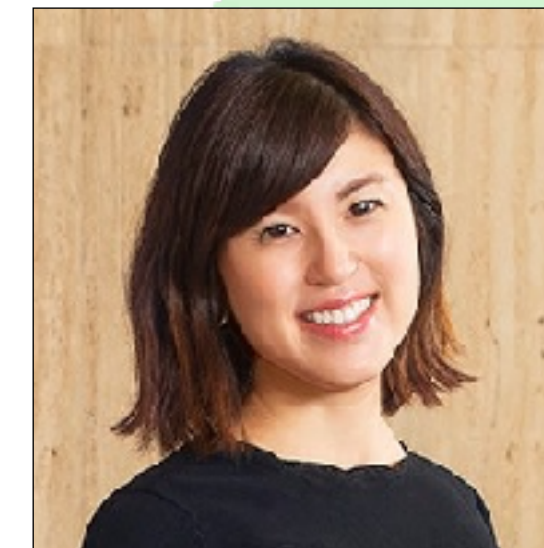
五味 廣文

- ▶ 元 金融庁長官
- ▶ SBI新生銀行会長
- ▶ ボストン・コンサル
ティング・グループ
Japan
シニア・アドバイザー



Anis Uzzaman

- ▶ シリコンバレーの
VCのCEO
- ▶ 世界40ヶ国以上で
開催の「Startup
World Cup」主催
- ▶ 米国CA州在住



時岡 真理子

- ▶ シリアルアントレ
プレナー
- ▶ Forbes Japan
WOMEN AWARD
2019 受賞
- ▶ 米国NY州在住



正宗 エリザベス

- ▶ 元 在日オーストラ
リア大使館 公使
- ▶ パソナグループ顧問
- ▶ 東京商工会議所
日豪経済委員会
次世代リーダー
プログラム担当委員

ガバナンス:さらに

プライム市場のみに適用される5つのコーポレートガバナンス・コード原則および補充原則へも対応

原則・補充原則		当社の対応
1-2④	議決権電子行使プラットフォームの利用	東証提供の議決権プラットフォームは利用していませんが、ブロックチェーン技術を採用した自社開発の議決権投票システムを活用しております
3-1②	英文開示の促進	HPの英語化及び四半期決算短信の英文提供に加え、招集通知の英訳も実施しております
3-1③	TCFD等の枠組みに基づいた開示の充実	取締役会への助言機関であるアドバイザリーボードに外部有識者を招き、当社業態を踏まえた適切な開示について検討を進めております
4-8	独立社外取締役(1/3以上)	独立社外取締役は2/3以上、多様性(ジェンダー、国籍)を重視した構成にしております
4-10①	指名・報酬委員会の独立性と開示	独立社外取締役・監査役が構成員の過半数を占める指名・報酬委員会を設置しております

広報・IR

【IR・広報の強化】

◆ステークホルダーとのコミュニケーションを強化

- ✓ 決算・投資家説明会や機関投資家との面談等の対話機会の拡大
- ✓ 新規投資家の拡大に向けたイベント出展

◆情報開示の充実によるタッチポイントの拡大

- ✓ 適時開示資料加え、独自に作成した事業説明資料等のコンテンツ拡大
- ✓ サステナビリティ経営の実行状況等の開示やSDGs関連情報の充実
- ✓ アナリストレポートを通じた国内外への発信



◆ステークホルダーに対する技術啓発

- ✓ 技術トレンド等に関するメディア・投資家合同ブリーフィング
- ✓ 証券会社とのコラボによる技術特化型スモールミーティングの開催



実績の一例
IR優良企業奨励賞を受賞
(2021年)

サステナブルな社会への貢献方針

<p>環境保全</p>	<p>アステリアは、「地球環境・自然」と「社会・産業」との間の「エコシステム」の構築に向け、サステナブルな社会の実現を目指しています。</p>	
<p>働き方の多様性</p>	<p>アステリアでは、さまざまなバックグラウンドを持った人材が継続的に活躍できるよう、多様な働き方を支援する職場環境づくりを積極的に推進しています。</p>	
<p>社会貢献活動</p>	<p>アステリアでは、健康で豊かな社会の実現とその持続的な発展のため、当社の活動に加えて社内外の社会貢献活動を支援しています。</p>	

<https://jp.asteria.com/company/sustainability/>

SDGs取り組み実績と計画



自治体DX支援



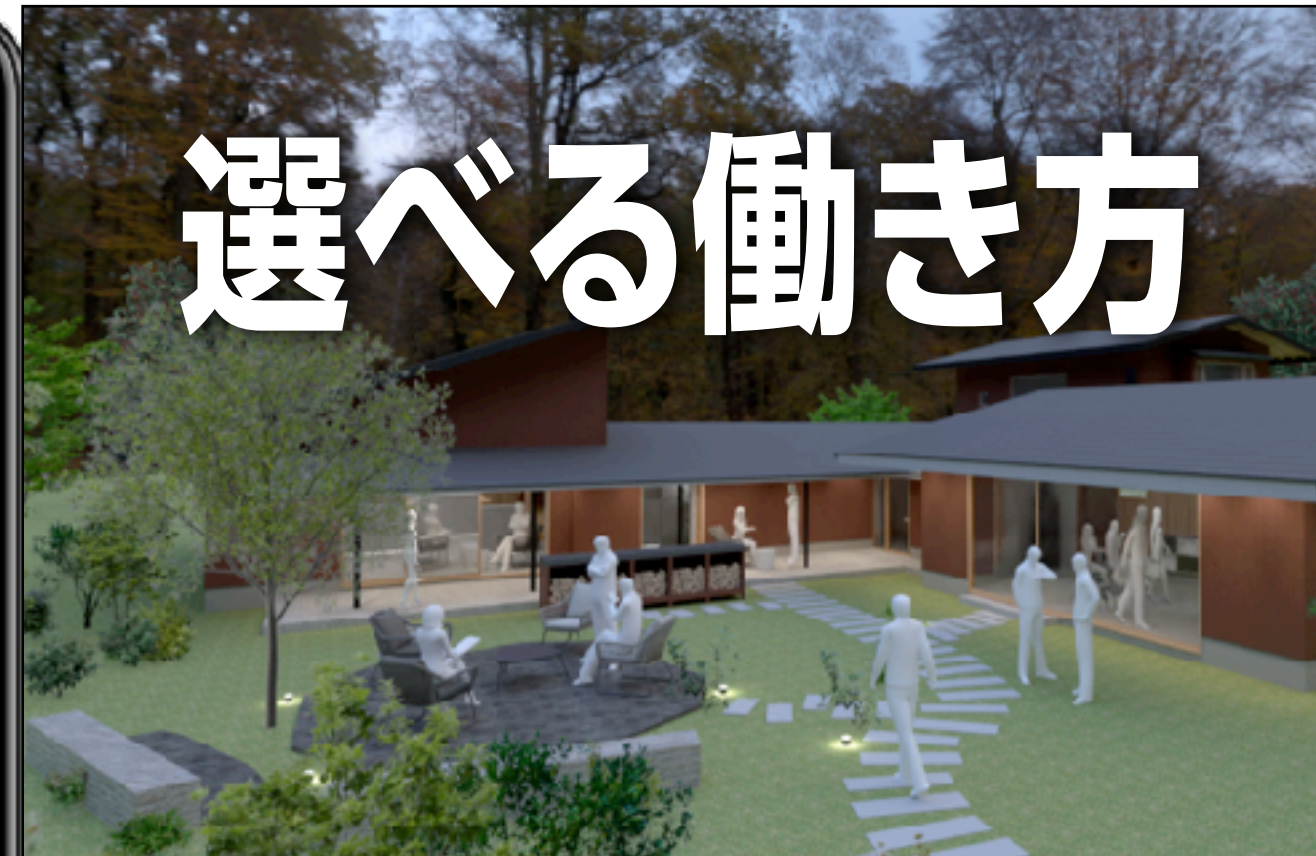
樹木の保全



脱プラスチック

<p>実績</p>	<p>防災DXや、観光DXなど地方自治体におけるDX推進を支援。</p>	<p>企業版ふるさと納税により熊本県小国町の杉の森と秋田県仙北市の桜を保全(大臣受賞実績あり)</p>	<p>販促ノベルティでプラスチックの代わりに杉の間伐材を使用。うちわ、カレンダー、バッジ、トロフィーなど</p>
<p>計画</p>	<p>対象自治体をさらに広げてノーコードによる地域のDX推進。</p>	<p>小国町と仙北市の企業版ふるさと納税を継続し、他の企業のモデルケースに</p>	<p>必要に応じて範囲を広げ継続</p>

SDGs取り組み実績と計画



<p>実績</p>	<p>場所の定めのない株主総会により、株主総会のCO2排出量を削減、また使用分はカーボンオフセットにより実質ゼロに。</p>	<p>オフィスの形態を5次元化し、日本全国700箇所以上で働くことのできる仕組みを確立。</p>	<p>ノーコードGateの開始。ノーコード推進協会立ち上げにより、非IT人材でも活躍できる社会を実現。</p>
<p>計画</p>	<p>カーボンオフセットして実質排出量ゼロのイベントを増やす。</p>	<p>リゾートオフィスの活用により、さらにウェルビーイングと生産性双方の向上を計画</p>	<p>「ノーコード宣言シティ」の開始により地方へのノーコード普及を促進。</p>

SDGs取り組み実績と計画



ダイバーシティ



健康就業支援



人身売買撲滅

<p>実績</p>	<p>取締役の多様性確保、産休・育休などの女性活躍支援、LGBTQにむけた制度改定。</p>	<p>FDA (Future Dream Assosication) 主催のITチャリティ駅伝の継続支援</p>	<p>かものはしプロジェクトの継続支援</p>
<p>計画</p>	<p>他の企業への浸透を図る。</p>	<p>FDA (Future Dream Assosication) 主催のITチャリティ駅伝の継続支援</p>	<p>かものはしプロジェクトの継続支援</p>

プライム上場維持基準の適合に向けた計画書

本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績や進捗等は、様々な要因等の変化等により、見通しと異なる場合があります。